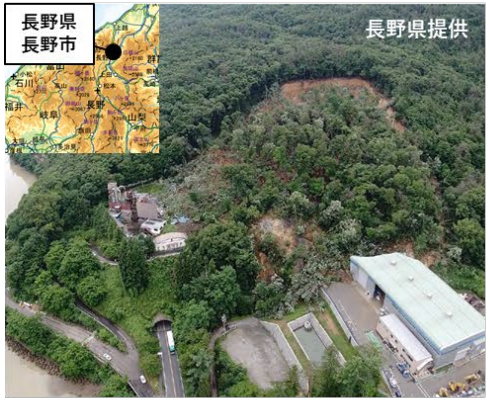
令和3年7月　国道19号（長野県長野市篠ノ井）の地すべりへの技術支援

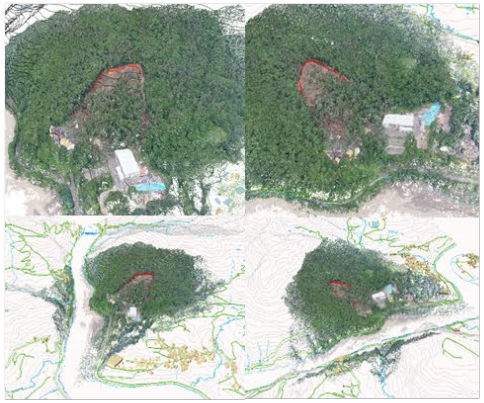
国立研究開発法人 土木研究所 PUBLIC WORKS RESEARCH INSTITUTE

○土研・国総研は、長野国道事務所からの依頼を受け、国道19号長野市篠ノ井小松原（ながのし しののい こまつばら）地区で発生した地すべりによる通行止めに対して、各分野の専門家からなる対応チームにより、地すべりCIMによる被災状況把握、遠隔による技術指導等を短期集中的に行い、片側交互通行の早期移行を支援しました。

○また、地すべり対策を実施する長野県に対しては、土研DX端末を活用した遠隔による技術指導等を現地調査の進捗に合わせてきめ細かく実施し、緊急地すべり対策の早期着手を支援しました。



地すべり全景



BIM/CIMモデル

地すべりとトンネル位置の確認

技術指導でのCIM活用

遠隔での技術指導

国道19号の対策（長野国道）

土研DX端末でのBIM/CIM

地下水排除工（長野県）